

グループホーム ファミリー 地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目）

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	13	
理念に基づく運営	1	理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)		自己評価3項目・外部評価2項目	2	
		1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	のんびり、ゆったりできる環境づくりを行い、一人ひとりの生活の流れを大切にしている。一人ひとりの思いや希望が表出できやすい雰囲気づくりを行っている。地域との交流では、地域の住民が気軽に立ち寄り、語らいの場に、なることがある。利用者家族が友人とくつろぎの場になりつつある。家族は、頻りに訪れ、くつろがれる。	1	地域の中で、ゆったり、ゆっくりできる環境づくりを、地元協力住民との共存し、互いに協力できる体制づくりを行いたい。地元住民の介護の相談援助を現在行っている。さらなる、地域に密着したよりよい地域共同体となることを目指したい。
		2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	利用者本位、自己選択ができ、ゆったり、ゆっくり生活ができるよう、機会あるごとに、話を行う。	1	利用者本位であることの大切さを、伝える。
	3	家族や地域への理念の浸透【外部評価】 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	家族や民生委員に、外出行事に参加できるよう案内や広報を行っている。また運営推進会議にも、地元協力住民、民生委員、地域包括支援センター、大牟田市長寿社会推進課職員、家族代表等参加してもらい、理解してもらえるよう対応している。	0		
	2	地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)		自己評価3項目・外部評価1項目	3	
	2	地域との支え合い	4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りしてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近隣の住民との挨拶やくつろぎの場所、憩いの場所として、活用されている。また、介護の相談援助も平行して行っている。	1
5			地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	季節にあった行事、花見や予芸会、地域の行事に参加できている。グループホームの行事には、地元協力住民や民生委員、家族等の参加している。	1	さらに、地域密着の活動ができるよう、施設周辺の清掃、美化活動を、利用者、スタッフにて行っている。施設前の私道（地元住民が多く使用している）を中心に活動している。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2	6	事業所の方を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所々職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域住民の高齢者はもちろん、高齢者ど同居している家族の介護相談、施設見学、対応の仕方等を行い支援している。	1	グループホームの母体である病院は、地域に密着した医療を行い、医療的支援も行いつつ、それに合わせて介護分野も行っていきたい。
	3		理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	5	
	3	7	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価を参考に、研修を行っている。	1	引き続き、外部評価を通して、気づきを大切にしたい、質の向上を図りたい。
		8	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、外部評価の結果報告や改善策を具体的に提示している。提示したことによる、会議で出た意見に、率直に傾聴し対応している。	1	運営推進会議には、地元協力住民に、積極的な、前向きな意見を取り入れ、活発な会議が行われている。
		9	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	大牟田市長寿社会推進課の地域包括支援センター主催の研修会に参加し、市の職員との交流し質の向上を図っている。	1	幅広く市との交流ができるよう、消防、疾病予防、健康、余暇等に関連する担当課とつながりを持っている。
		10	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	地域権利擁護事業や成年後見人制度について資料提示、勉強の機会を持っている。	1	家族には、必要に応じて説明を行うも、家族が関心ないと答える場合がほとんどである。
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止関連の資料提示や説明を行っている。	1	利用者本位、自己選択ができるよう、研修やスタッフ間での意見交換等実施。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	3	
理念に基づく運営	理念を 実践 する ため の 体制	12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書、重要事項説明書を使って説明している。	1	説明は、細かく砕いて、高齢者にもわかりやすく説明している。
		13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	常日頃は、管理者ならびに職員は利用者からの意見、不満、苦情を真摯に受け止め対応するよう心がけている。また家族会などの外部者が集う機会に表せる機会を設け、意見を聴取し運営に反映している。	0	
		14	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者家族に、来所時説明と報告を行っている。急変時も、家族に連絡が速やかに行える。	1	暮らしや日々の出来事は、写真や広報も活用している。
		15	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	常日頃は、管理者並びに職員は、家族からの意見、不満、苦情を真摯に受け止め対応するよう心がけている。家族会や運営推進会議などの外部者が集う機会に表せる機会を設け、意見を聴取し運営に反映している。	0	
		16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的に会議を開催して、その中で意見を聴取している。その中の意見で、待遇面などについては、理事会、運営会議に諮り検討を行う。	0	
		17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	スタッフ同士での話し合いや調整を行っている。	1	話し合いの時間を調整して行っている。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	4 理 念 の 実 践 制 す	18	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	東館、西館別に担当を区分けしている。変わる場合は、利用者、家族に配慮しながら職員の希望、質の向上を検討して少人数の移動にとどめるよう努力している。	0	
		5	人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)	自己評価6項目・外部評価4項目	0	
	5 人 材 の 育 成 と 支 援	19	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	年齢、性別関係なく、採用している。	0	
		20	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	会議やミーティングで、人権学習の機会を持っている。	0	
		21	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	計画を立てて、行っている。(救急法講習会、介護現場に役立つ講習会参加等)	0	
		22	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	介護支援専門員(管理者)が情報交換した情報を職員に伝達を行っている。	0	
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	働く者のケアを図る為に、相談窓口、対応者を決め行っている。メンタルヘルスを、同系列の病院が主体となって行っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	スタッフも利用者も互いに、助け合い、支えあっている。	1	共存している関係、多人数の家庭としていけるよう継続している。
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	利用者家族と本人との関係を考慮し、面会の設定や外出、外泊の働きかけを行なっている。	1	本人の思いを伝えて、家族とのつながりを、よりよい関係を保てるようにして、楽しみとなるよう行なっていく。
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人や場所は、途切れないようにしている。	1	利用者にとって、馴染みは、その時、その時間、場所によって変化しつつある。馴染みを固定したものと捉えるのは、無理や不都合な場面がある。状況をみながら、支援する。この設問には、無理がある。
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士の関係を考慮し、食事の場所を考えている。トラブルの未然防止できるよう居室の配置を行なっている。	1	一人が好き、他者との交流が嫌いな利用者には、満足できるよう「自分の居場所」を確保している。利用者の一人ひとりの感性では、一人を好まれる方も存在する。その感性や思いを尊重して対応している。この設問に無理がある。
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所された利用者家族が、時折来所され近況報告される。元の利用者家族が、悩みや相談をされることもある。	1	退所しても、心の支えや相談窓口となれるグループホームになりつつある。
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価17項目・外部評価6項目	17	
	1	一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)		自己評価3項目・外部評価1項目	3	
	1	35	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの希望にあう、外出、思い出探索を、個別に行なっている。	1	季節に応じて、負担のない外出や楽しみづくりを行なっている。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴や嗜好に応じて、生活スタイルを出来る限り尊重し、存続できるよう行なっている。	1	日々の生活で、何が必要か、様々な場面において、確認し、よりよい暮らしができるよう行っていく。
		37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	心身の状態を把握して、ストレスの軽減や安心してらせるよう努めている。	1	日々、日中においても変化している心身の状態を見逃さずに対応し、安心、安楽の状態になるよう配慮している。
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価3項目・外部評価2項目	3		
	2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	38	チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	チームで、話あいながら少しずつ改善策をつくっている。	1	介護計画の完全なものは、存在しないとの前提で、日々の様子を観察しながら対応していく。
		39	現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	変化に応じて、計画作成している。家族はもちろん、本人も了解をとっている。	1	介護計画が、少しでも現状に即したものになるよう対応している。
		40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や気づきは、記録し、対応の見直しを行っている。	1	情報の共有は、連絡ノート、ショートミーティングを行い対応している。
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価1項目・外部評価1項目	1		
	3 多機能を活かした柔軟な支援	41	事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	事業所の多機能を活かした支援を、行っている。介護及び相談援助。同一法人内の事業所の連携。	1	同一法人の協力と連携を図り対応できるようにしている。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価10項目・外部評価2項目	10	
		42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	運営推進会議を通して、民生委員の協力を得ている。	1	運営推進会議を通して、地域協力住民との連携を、より図っていきたい。
	4		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	グループホームには、頻りに他のケアマネや相談員が来所している。意見交換や相談を行っている。	1	グループホームだけでなく、他の事業所のケアマネ、相談員と連携している。
		44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に地域包括支援センターが参加しており、ケアマネジメントについて、対応している。	1	権利擁護やその他の必要事項は、そのつど対応し、問題解決に向け行っていきたい。
		45	かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医を大切にして、連携を行っている。	1	同一法人の病院と連携して、適切な医療ができている。
		46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症に詳しい医師と連携して対応している。	1	認知症に詳しい医師と、さらに緊密な情報交換、報告、連絡、相談を行っていく。
		47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	訪問看護ステーションと連携して、看護師に、健康状態の把握と医療支援を確認している。	1	日常の些細な事でも、訪問看護ステーションと連絡して、対応している。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	同一法人の病院と連携し、早期に退院できるように行っている。	1	定期的な、在宅カンファレンスを病院で行い、情報交換や夜間時の急変等対応の仕方等について、細かく検討したり、方策を練っている。
		49	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族と医師との話し合いや方策を、会議を通して行っている。	1	家族の意向や本人の意向を大切にして、スタッフと情報を共有している。
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	医療（医師、看護師が常時対応）が、常時必要となれば、入院となるが、医療が、定期受診、診察でよければ、事業所のできるごととして、対応している。疾患の対応は、急変に対応できるよう、訪問看護、外来病院、入院病院等連携し対応策を行っている。	1	連携は、今後も継続していき、安心、安全の生活を送れるよう図っていききたい。
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	住み替えのダメージは、家族、本人に説明することはもちろん、他の事業所や関わる人々に情報交換をはかっている。	1	常日頃から、病院、介護事業所と連携が取れる体制づくりを、確立していききたい。
		その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価 3 8 項目・外部評価 1 1 項目
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)			自己評価 3 0 項目・外部評価 9 項目	29	
	1	(1) 一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)		自己評価 3 項目・外部評価 2 項目	3	
		52	プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの対応では、個別に配慮しながら行っている。	1	言葉や誇りを大切にして、行っていききたい。
		53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	基本は、自己選択であり、説明や声がけを行っている。	1	継続して、利用者本位の対応を行えるようにしたい。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者本位の支援を行っている。	1	希望や体調に配慮して対応し、よりよい支援ができるようにしていきたい。
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55~60・外部 25~26)	自己評価6項目・外部評価2項目	6	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	散髪は、家族や本人の希望を大切に、対応している。	1	おしゃれや、みだしなみを、本人や家族の意向を、今後も大切にしていきたい。
		56 外部評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事のテーブル拭きや片付けを、スタッフと利用者で行い、時折、野菜の下ごしらえも、行っている。	1	食事が楽しめるよう、献立や食材について意見を聴いて対応している。
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	飲み物、おやつは、本人の嗜好に応じて対応している。	1	利用者の嗜好に対応して、飲み物の提示や新たなデザートや食物を提示している。
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄については、利用者の身体状況に合わせて対応している。	1	排泄パターンは、日々変化しており、対応している。
		59 外部評価 26	入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者に、入浴の希望を行い対応している。	1	基本的に自己選択であり、入浴を楽しんでいただく。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	基本は、利用者の自己選択であり、希望や体調に合わせた支援を行っている。	1	継続して、支援してる。
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	5	
		61 外部評価 27	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日々の生活の中で、洗濯たたみやテーブル拭き等、役割分担している。役割意識の下、生活に潤いがある。気晴らし、憂さ晴らし等一時的な対応であり、原因究明が必要と思われる。設問に問題あり。	1	役割分担による、日々の潤いを大切にしている。
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一人ひとり、価値観が違い、お金の捉えかたはまちまちである。価値観や捉え方に対して適切な支援を行っている。	1	金銭に対しては、本人はもちろん身元保証人(家族)の意向も考慮して対応。家族の金銭感覚や経済能力も、きちんと対応しないと、収支のバランスが崩れてしまう恐れが多分にあるケースがある。全体を見渡せての対応が必要である。
		63 外部評価 28	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	戸外での希望と室内での生活を楽しみにされている利用者様々であり、希望に沿った対応をしている。利用者の希望と身体能力、疾患とかけ離れた方も多数おられる。その調整を図っている。	0	
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	行ってみたい場所には、希望をとり行っている。	1	行ってみたい所がわからない、どうしてよいかわからない方々が、多数おられる。家族と相談しながら対応している。屋外が苦手で、室内がいいと言われる方もおられる。設問に無理がある。
		65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の理解が難しい方が多数おられる。電話の相手が見えないと、不安で話されない。	1	家族からの手紙を朗読するも、差出人が家族と認識できず、文面の理解が難しいことが多数あり。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	家族や知人、友人等、気軽に訪問されている。	1	継続して、訪問できるよう支援していく。
		(4)	安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)	自己評価8項目・外部評価2項目	8	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束について、説明や対応を話している。	1	新聞やテレビでの身体拘束の問題について話し合ったり、対応を行っている。
		68	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中、自由に玄関から出入りできている。	1	自由に出入りができる玄関は、地元住民も出入りができる。
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	利用者の所在確認は、こまめに行っている。	1	安全に利用者の所在確認は、今後も継続していきたい。
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	一人ひとりの状態に合わせて、危険と想定される物品は、管理されている。	1	危険防止は、継続して行っていきたい。
		71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故防止に研修を行ったり、知識や実践に取り組んでいる。	1	継続して取り組んでいきたい。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	スタッフは、救急法の講習に、順番で参加している。消防署では、偶数月の第三日曜日に救急法の講習を行っている。	1	継続して、救急法の講習会に取り組んでいきたい。
		73 外部評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災訓練を年に2回実施している。災害時には、同一法人の病院が緊急避難場所となっている。通報訓練、避難訓練、消火訓練を行っている。	1	防災訓練は、継続して行っていきたい。
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	リスクは、個別に説明を行っている。	1	家族に機会を持ち、説明を行っている。
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75~81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	7	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	健康管理は、訪問看護、病院と連携して対応し速やかに対応している。	1	継続して、さらに強固な連携を行い対応していきたい。
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の講習会に参加したり、処方薬の説明を読んだりしている。	1	継続して、薬の勉強する機会を増やしていきたい。
		77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	運動や繊維質の食物摂取等、工夫している。	1	便秘予防の取り組みを、継続していきたい。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口腔衛生は、利用者に応じて対応している。歯科医師や歯科衛生士の口腔衛生指導を受けて、指示通り口腔ケアを行っている。	1	口腔内で変化があれば、歯科往診や病院受診を行っており、速やかに対応している。	
		79	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食材や食事の形態等、利用者に応じて対応している。	1	一人ひとりに対応できるよう工夫している。	
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	使い捨ての手袋使用や手洗い励行を徹底している。	1	調理や汚物処理等には、感染予防に留意している。	
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	感染予防と同等に留意している。	1	衛生面には、予防対策を実施しており、継続していきたい。	
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)			自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	8	
	2 生活環境づくり その人らしい暮らしを支える	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)			自己評価 5 項目・外部評価 2 項目	5	
		82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関まわりやフェンスには、花や野菜を植えて、親しみやすいよう工夫している。	1	グループホーム周りは、野菜、花でおおわれるよう、つとめている。	
		83	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	環境は、建物の設計から考慮されている。	1	建物は、工夫しており、快適と利用者の声ありで、良いと思われる。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者一人ひとりの居場所を確保しており、くつろいでいる。	1	利用者それぞれ、自分の居場所やくつろぎの場所を確保できており、継続していきたい。	
		85 外部評価 33	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具を居室に設置して、居心地の良さを体感してもらっている。	1	持ち物は、使いやすい物を使って、家族や本人に満足してもらえるよう継続していく。	
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	室温は、温度計を確認して快適に過ごせるよう対応している。	1	季節に応じて、温度設定や体感温度にも配慮している。	
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	3	
		87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物は、あらゆる場面を想定してつくっている。	1	配慮した建物であり、不都合があれば改善できる方策を行っていきたい。	
		88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	わかる力で、ゆっくり、ゆったり過ごしている。	1	わかる力で、ゆったり、ゆっくり過ごせるよう継続していきたい。	
		89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	花や野菜が建物の周りを囲っており、活動しやすい雰囲気を保っている。	1	継続して、花野菜に囲まれた環境づくりを行っていきたい。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目			取り組みの成果 (該当する数字を右該当番号欄へ入力)		該当 番号	
サ ー ビ ス の 成 果 に 関 す る 項 目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	2		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	2		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	3		
サ	99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
ビスの 成果に 関する 項目		100	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思 う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足して いると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	2	

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。